

# 果実販売動向

販売課 米澤 松太



度重なる台風の影響により被害におかれましては衷心よりお見舞い申し上げます。

9月の果実動向は、秋果実主体の売り場構成の中、ブドウ・梨の前進出荷に加え、台風21号の影響から柿を中心とした枝折れ・落下被害などから果実全般に数量減の単価高となりました。

リンゴについては、長野県産サンツがるが前進傾向で8月販売が多かったことや、日焼け等による数量減から9月中旬にはほぼ切り上がり、青森県産リンゴヘスムーズに移行されました。

青森県産早生種についても、台風21号による落下被害および樹上損傷果に加えて、日焼け・黒星病等の影響により流通量は終了まで少なく、概ね順調な販売となりました。後続する中生種については、香港・台湾輸出向けを中心とする「トキ」の中秋節需要が9月中旬よりスタートし、それ以降の需要

も例年以上に活発となりました。また、度重なる台風襲来の懸念から「早生ふじ」系も9月下旬から出回り、中生種全般、例年以上に前進出荷、堅調取引となりました。当JAでは、9月中旬に早生種の選果が終了、9月末には完全に販売終了し、9月下旬より香港・台湾・タイ向けの「トキ」の輸出を開始することができました。組合員の方々にはご協力いただきありがとうございます。「トキ」についてはほぼ海外向けとなっており、堅調に販売されています。今後、極早生ミカンについては、本格化となりますが、梅雨明け以降の干ばつの影響から小玉傾向での見込みであり、ブドウ・梨・柿についても流通量が少ない見込みから、リンゴについては長野県産の秋映・シナノスイート・早生ふじ等の中生種がピークを迎え、売場の主力品種となっています。しかし、小売価格が高めに設定され

ていることや、台風による樹上損傷等の下位等級品の割合が多いことから企画販売により、売り場確保に取り組みます。当JAでは、10月中旬に世界一、紅玉、ジョナゴールド系、下旬からむつ、ふじ系、王林、名月、シナノゴールドのスマートフレッシュ処理を実施します。有利販売に努めますので、ご利用のほどよろしくお願いいたします。



一部で台風による落果被害があった

## 全農あおもりデータ・9/30

品 種	サンツがる	早生ふじ	ト キ	きおう	その他	合 計
単 価 (円)	2,815	3,735	3,316	2,851	2,918	2,842
前 年 比 (%)	117	115	109	119	108	117
数量 (箱/10kg)	839,986	14,695	10,202	127,616	51,374	1,043,873
前 年 比 (%)	89	87	230	96	87	90